

2020(令和2)年度 エリザベト音楽大学事業計画

教職協働により難局を乗り越え、学生の成長をサポートする体制を構築

2020年度は、年初よりの新型コロナウイルスの感染拡大により、日本そして世界中の経済・社会をはじめとするあらゆる分野において混乱が生じています。それに伴い大学運営も大きな影響を受けることが予想されますが、教職員が連携を密にしてこの難局を乗り越えたいと考えます。

エリザベト音楽大学長期計画(2016年度～2025年度)を基盤に据え、2020年度3つのポリシー他各種規程の修正・制定、2021年度音楽学部及び大学院修士課程カリキュラム見直し、2023年度創立75周年事業、2024年度外部認証評価受審、以上各年度のプロセスを着実に前進させます。

本学は創立以来、建学の精神、教育理念の実現のために、カトリシズムの精神、とりわけイエズス会教育を基盤に据えた音楽芸術の教育・研究を行ってきました。今後も国際平和文化都市広島における独自の役割を果たすべく、大学運営をさらに充実させます。

学生募集に関しては、2019年度は良好な成果を出すことができました。これが一過性にならないように、募集計画をより一層綿密に構築し、教職員が連携・協力して実行します。

施設設備の改修(計画)については、長期計画に基づき補修および維持管理を順序立てて実行すると同時に、学生の学修の支援のためには、必要に応じて迅速な対応を行います。

(1)経営面の計画

①建学の精神、教育理念の実現のために

- ・学内の種々の行事、研修会等とおしてイエズス会教育方針を学ぶ。
- ・学生・教職員がアジア各地のイエズス会学校を視察し、慈善演奏会あるいは演奏をとおした交流を行う。
- ・カトリック大学連盟および私立大学協会との連携をとおして、建学の精神、教育理念の実現について新たに検討する。

②大学教育、学生募集への取組み

- ・新入生全員にパーソナル・コンピュータを貸与することにより、学生のICT技術を伸ばし、学生満足度の向上を図る。
- ・前年度の募集活動の成果を分析した上で、教職協働により学生募集の強化を図る。
- ・新たに設定した大学独自の奨学金の広報に努め、学生募集活動に効果的に活用する。

③長期計画に沿った将来計画の策定

- ・長期計画の中間点として、施設・設備補修計画の修正計画を立案する。
- ・長期計画の中間点として、財政計画の修正を実施し、最善の方策を追求する。
- ・2020年度は西条キャンパスにおいて授業を実施しない。改めてキャンパスのあり方について検討を行う。

④国際交流の推進

- ・ヨーロッパ諸国の交流協定校の増加とともに、学生の留学準備学修の実質化を支援する。
- ・海外の交流協定校との連携事業についてPDCAサイクルにより推進する。

(2)教学面の計画

①教学改革について

〔音楽学部〕

- ・2022年度からの教育課程全体の見直しに向けて、昨年度に引き続き現在の課題について検討を行う。

〔音楽文化学科〕

- ・各専修、領域の連携を深め、柔軟な個人指導体制に取り組む。
- ・音楽文化学科の存在と学びの魅力を幅広くアピールするための施策・仕組みを考える。
- ・学科全体として、入学者募集につながる取組みを積極的に実施する。

音楽文化専修

- ・学生にとって魅力的なカリキュラム、学びの内容・体制への改善を図る。
- ・4領域体制への速やかな統合を図る。
- ・進学説明会の際に、学生の活動紹介を含める等の専修の紹介を含め、入学志願者増加を目指す。

幼児音楽教育専修

- ・音楽大学としての幼稚園免許課程にふさわしい音楽的能力と教育理論の融合を目指して、幼児期の音楽教育に必要な指導力の育成に取り組む。
- ・幼児、親子を対象とした社会貢献活動として音楽を楽しむ場を提供する。

音楽コミュニケーションデザイン専修(在学生最終年度)

- ・専修から領域へのシフトを滞りなく進める。

〔演奏学科〕

- ・2022年度からの新カリキュラムの実施に向けて、理念や現状に沿ったカリキュラムへの見直し・整理を行う。
- ・学生が日頃の成果を発表できる演奏の場の創出を検討する。
- ・2021年度からの新奨学生制度実施に向けた指導体制を構築する。
- ・演奏学科教員の学内外での演奏活動を支援し、入学志願者へのアピール強化と志願者増加につなげる。
- ・前年度同様大学主催コンサートや学内での演奏会に、教員が年間をとおして出演を含めて可能な限り関わるよう促す。
- ・現代の学生が望む授業内容を考え、それに応える教育を検討する。

〔大学院〕

- ・海外(フィリピン・中国)での留学生入学試験を実施し、海外からの留学生を確保する。
- ・魅力ある修士課程・博士後期課程とするための課題と改善策を検討する。
- ・音楽学部の奨学金付き入学試験制度開始以来見直されていない大学院カリキュラムについて再検討を行う。
- ・国内外から著名な演奏家を招き、公開講座・公開レッスンを実施する。

②学生生活支援について

〔学生生活〕

- ・学生の人間的成長と自立を促すため、各種行事を実施し、学生主催行事を支援する。
- ・生活面で課題を抱えた学生や障がいのある学生については、状況を把握し、必要に応じ各部署と連携して支援を進める。
- ・学修面で悩みを抱えた学生については個別面談等を行い、具体的対応を講じる。

〔就職・進学サポート〕

- ・学生一人ひとりの卒業、修了後の進路について、学生生活センター室長、教養・教職主事、キャリア支援室長、学生生活担当職員、キャリアサポート委員会が連携して支援を行う。
- ・卒業、修了後の進路は、音楽大学の特徴を活かして、教職、音楽関係、一般企業、進学、留学など幅広い分野で支援できるよう体制を整える。
- ・進路オリエンテーション、就職ガイダンス等を計画的に実施し、学生が自らのキャリアについて先を見通すことができるよう安定的な取組みを行う。

- ・キャリア支援のための個別面談機会を増やし、特に貸与型奨学金受給学生等へは、低学年時より就業に対する意識を醸成する。

③国内及び国際交流

〔国内外の交流〕

- ・国内外のカトリック大学との連携・交流活動・事業を新たに計画し、実行する。
- ・学外における留学生支援イベント等での留学生の演奏活動を支援する。
- ・8月に開催予定のカンボジア・セント・ポール大学で開催されるASEACCU(東南・東アジアカトリック大学連盟)総会及び学生会議へ、本学学生及び教職員が参加する。

〔国外交流協定校との交流事業〕

- ・四川音楽学院(中国)におけるマスタークラスレッスン・演奏会等の実施。
- ・フィリピンの大学におけるマスタークラスレッスン・演奏会等の実施。
- ・アジアのイエズス会学校に対する支援コンサートを、国内外のイエズス会員と連携して企画し、年間1(2)つの計画の実現に努める。

④学生募集活動及び広報活動について

〔学生募集活動について〕

- ・教職員による様々なチャンネルからの情報収集を継続的に行う。高校訪問、出前授業、音楽指導者とのコンタクト、進学関連業者による高校内での進路ガイダンス、各種音楽セミナー、コンクール、演奏会、ネット媒体などから、鮮度の高い情報を収集し募集活動に活かす。
- ・進学ガイダンス・大学説明会については、さらに規模を拡大し、学生募集活動を強化する。昨年の開催地(14会場)に加え、新たに3会場(計17会場)で、大学のPRと情報収集活動に注力する。岡山、下関、防府、福山、松山、福岡、出雲、佐賀、佐世保、熊本、大分、宮崎、鹿児島、高松に加え、2020年度は三次、米子、岩国を追加する。より広範囲に大学の魅力を発信する。
- ・オープンキャンパスは例年どおり6月・7月・8月に実施予定。内容の充実を図る。
- ・学内公開を定期演奏会当日(10/17)に実施し、リハーサル見学など臨場感の高い内容とする。
- ・大学施設設備のPRと音大生疑似体験を兼ねた、ホール演奏体験企画を実施する。(12月)
- ・奨学金制度の充実に伴う入学試験の変更について、遺漏がないよう丁寧な指導を行う。
- ・春のオープンキャンパスの位置付けで、スプリングフェスティバルを実施する。(3月)

〔広報活動について〕

- ・情報伝達ツール(大学案内、エリザベトアイなど)の作成と配布により大学の魅力を伝える。
- ・時代に対応した情報伝達媒体(各種SNSなど)を活用する。インスタグラムも展開する。
- ・外部団体との良好な関係構築や深化により大学の魅力発信と情報収集を図る。
(広島県合唱連盟、全日本ピアノ指導者協会、全日本吹奏楽連盟など)
- ・連携協定先を含む各種団体等の主催イベントに積極的に協力する。
(シャレオ大学生コンサート、市役所コンサート、県立美術館コンサートなど)

⑤教職員研修(SD・FD)について

- ・SD・FDについて、ゴーセンス記念講演研修会(4月)、教職員研修会(4月、9月)ほかの研修計画を立案・実施する。
- ・教職員を学外の多様な研修会へ参加させ、そのフィードバックを共有することにより研修の成果を業務に活かす。
- ・自己点検・FD運営委員会を中心にして、授業参観をはじめとするFD活動を活性化させる。

⑥創立75周年記念宗教合唱曲集刊行に向けて

- ・これまで委嘱した国内外の作曲家による宗教合唱曲の集大成を目指し、創立75周年記念宗教合唱曲集刊行につなげる。(継続事業)

⑦演奏活動

2020年度エリザベト音楽大学コンサートスケジュール

日程	演奏会名・行事名・会場・出演者
4/11(土)	(エリザベト音楽大学・くらしき作陽大学 大学間包括交流協定事業) 第3回ESpoir新人演奏会(2020年度は、くらしき作陽大学桃花楽堂での開催予定であったが、新型コロナウイルス感性防止のために、双方の大学において実施する。) 出演:エリザベト音楽大学、くらしき作陽大学・短期大学の新卒者
4/25(土) 【延期】	エリザベト音楽大学コンサートシリーズ 本学教員による演奏会(セシリアホール) 「風の調べ〜リコーダーとオルガンによるコンサート〜」 共催:(公社)日本産業退職者協会 リコーダー:鈴木俊哉 パイプオルガン:佐々木悠、桑山彩子、福原之織
6/20(土)	スピリチュアルコンサート 本学教員、同窓生による演奏会(セシリアホール) 「スピリチュアルコンサート〜井上一清先生を偲んで〜」 ソプラノ:小林良子 バリトン:平田昌久 指揮:佐々木 悠、井田勝大 エリザベト音楽大学同窓生合唱団・交響楽団
9/24(木) 予定	秋季大学院新人演奏会(セシリアホール) 出演:秋季修了生から選抜
10/17(土)	第79回定期演奏会(セシリアホール) ピアノソロ:オーディションによる選抜学生 指揮:太田弦 演奏:エリザベト音楽大学交響楽団
10/18(日)	特別演奏会下関公演(下関市生涯学習プラザ海のホール) 10/17と同じ出演者
11/6(金)	エリザベト音楽大学コンサートシリーズ マーティン・ヒューズ客員教授ピアノリサイタル(セシリアホール) ピアノ:マーティン・ヒューズ(客員教授)
12/5(土)	チャリティークリスマスコンサート(セシリアホール) 指揮:寺沢 希(女声合唱)、大井剛士 演奏:エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団
3/4(木) 予定	春季大学院新人演奏会(セシリアホール) 出演:春季修了生から選抜
3/7(日)	卒業研究発表・演奏会 音楽文化学科(ザビエルホール) 出演:卒業生から選抜 卒業演奏会 演奏学科(セシリアホール) 出演:卒業生から選抜

(3)管理面の計画

①施設設備改修と建物長期計画の検討について

- ・1号館の改修(空調設備更新)を行う。
- ・練習室等の個別空調設備の更新計画を立案するとともに、建物の長期更新計画を立案する。

②委託業務(清掃、寮管理、西条管理、その他)について

- ・業務内容の検証及び再検討を継続して行う。

③西条キャンパスの将来計画(土地、建物、設備)について

- ・西条キャンパスの在り方や活用について、改めて検討を行う。

④女子学生寮(セシリアホーム)の管理運営について

- ・施設設備や食事の内容等の充実により寮生満足度を向上させ、かつ学生生活上の指導・支援により寮生活の質向上を図る。
- ・委託業者による寮監教育の徹底と食事内容の改善と充実を実現する。

⑤ 附属音楽園・エクステンションセンター事業について

- ・園生獲得の取組みを継続する。
- ・受講生が見込めるエクステンションセンター講座を開発する。

⑥ 財務について

- ・1号館(セシリアホール)・本館の建替えに向けて、基本金積立の原資の確保に努める。
- ・経常収支差額の確保のため、教育活動収支における赤字の削減を図る。

以上